

ふるさと奥尻通信

平成27年3月31日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

気がつけば年度末。暦の上では、3月は31日までありますが、巷では40日、50日まであるんだそうです！ ということ？ 年度内ですんなり終わらない仕事が…恐ろしや恐ろしや。

特集 学芸員の写真でふりかえる2014年度

<p>4月 島内の学校整備進む</p>  <p>宮津小が奥尻小と統合し、表札も変わりました。</p>	<p>5月 シーズン開幕</p>  <p>しまびらきのスタッフジャンパー新調しました。</p>	<p>6月 ムーンライトマラソンやり遂げたよ</p>  <p>初開催のマラソン、試行錯誤を繰り返しながら、島の皆様のご協力で、無事に終了できました。感謝です。</p>
<p>青苗小体育館工事が順調に進み、8月に完成しました。</p> 	<p>奥尻のホヤ、焼いても良いし、塩辛でも良いし。</p> 	<p>島民みなで参加者を盛大にお見送り。今年は6月27日スタートです。おもてなしいたします。</p> 
<p>7月 花と笑顔でお出迎え</p>  <p>商工会女性部でマリーゴールドを育てました。</p>	<p>8月 島内外パフォーマー対決</p>  <p>奥尻の祭りに北大ヨサコイチーム「縁」が参戦。赤ふんどの乱舞に女性陣は大興奮したとかしないとか？</p>	<p>9月 新しい風がふく</p>  <p>新たに地酒を開発すべく、酒米「吟風」を作付け。</p>
<p>にっぽん丸が初寄港。4年越しの悲願達成で感涙も。</p> 	<p>なべつる祭り、1区町内会のタライに乗ったマツコを二頭の鹿が押すという、シュールな場面。新競技目白押し。</p> 	<p>航空自衛隊基地開庁55周年記念行事でヘリ搭乗。</p> 
<p>10月 地道な作業が実を結ぶ</p>  <p>毎年訪れる函館ラ・サール高校生に、竖穴住居を造る作業を体験してもらいました。作業が進んで大助かり。</p>	<p>11月 文化面に新息吹</p>  <p>島にチョコアートという物が上陸しました。</p>	<p>12月 冬のホッケは旨い！</p>  <p>これがウワサの奥尻のホッケの開きだ！</p>
<p>この山ぶどうを集めて、ワイナリーでは本数限定の山ぶどうワインを醸します。値段にふさわしい、高貴な逸品。</p> 	<p>徳洋記念碑が町の文化財に指定されました。</p> 	<p>ホッケのかまぶく、かけそばにのっけて、けでみれ。</p> 
<p>1月 新春を告げる魚</p>  <p>どんど焼。道南地方は8日にやります。</p>	<p>2月 年が変われば、街も変わる</p>  <p>今年は恵方巻きを2本食べたのでなんか良いことあるだろうと、楽観的になっていますが。</p>	<p>3月 時は過ぎても忘れずに</p>  <p>3.11から4年目、防災教育を継続中です。</p>
<p>奥尻港では、珍しく貴重なホッケが釣れました。</p> 	<p>道路拡幅にともなって、漁協事務所が解体。奥尻十字街の交差点の風景もすっかり様変わりしました。</p> 	<p>恒例の紙テープでお別れです。サヨナラ！</p> 

奥尻写真語 第3回 サヨナラの風景



春は別れと出会いの季節です。先に別れが来てしまうのが人生の妙とい
うところでしょうか。「出会いは別れの始まり」などとも言われますが、これ
は別れるときの寂しさをまぎらわす強弁でしょう。さて、島での別れの際は
港です。昔は奥尻港と青苗港で涙を誘う場面が見られました。現在では3
月20日を過ぎた頃から4月の2日頃まで連日紙テープが舞い、1日がピーク
です。左の写真は昭和40年代の離島者の見送りシーン(おくしり丸)。島の
高校への進学や集団就職で関東方面へむかうのであろう、まだあどけ
なさが残る中学卒業生らの姿が見えます。右は現在の見送り風景。右舷
の甲板に離島者が並び、岸壁には多くの見送りが並びます。お別れま
での短い時間にエールを送ったり、余興をしたりと様々な方法で、お世話
になった人や家族を送り出します。ほたるの光が流れれば、もう出港の
時。幾重もの紙テープを引きながら、思い出とともに旅立ちます。

学芸員の本棚 3冊目



学芸員オス
スメの一冊を
ご紹介しま
す。本は海洋
研修センター
図書室で借り
られます。

『考証要集』秘伝NHK時代考証資料 大森洋平

テレビドラマや時代劇やを見ている
と、現在では使わない言葉や言い回
しがよく出て来ます。視聴者は気楽に
観ていますが、制作サイドは、台詞や
動作、小道具にいたるまで検証して
います。時代によって、その当時の
人々の言動に違いがあるからです。
江戸っ子は鍋料理を食わないし、座
布団が普及するのは明治以降、マー
ジャンは大正末期にアメリカ経由で流
行した、などなど。目からウロコです。

月刊 奥尻のつり 3月号

3月初旬ころは、港内へのホッケの回遊が少なく、物足り
ない釣りが続いていました。中旬以降は、まれに40cmを超
える、いわゆる「ネボッケ」が港内に入ることがあり、その
胴の太さに釣り人は驚きの声を上げていました。エサはサ
ンマの切り身がメインで、イソメには反応しませんが、一部
ではイカゴロでも即効性があるようです。沖のマス釣りは
さっぱりようで、漁師の知り合いがいない人なら、残念な
がら口に入れる機会がほとんどありません。一方、東海岸
の沖ではクロガシラやマガレイが網に掛かかり、漁協の即
売会に出されるようになりました。これらが、だんだんと港
内に入ってくるので、春のカレイ釣りシーズンも目前と
いうことでしょう。雪どけとともに、ようやく釣りを楽しめる季
節となってきましたね。準備は万全でしょうか？

続・昭和奥尻生活詩 3回

昭和10年 奥尻郡釣石尋常高等小学校一年生「鳥賊つけ」

機	柱	べ	観	島	船
械	に	ツ	音	は	帰
の	凭	い	山	ま	る
音	れ	り	卷	だ	
一	て	ぬ	き	嶺	
眠	ぼ	れ	つ	に	
た	ん	て	い	て	
い	や	り	み	た	
一	し	て	る		
〇	旗				
一	て				
五	と				
作					

福士
キ
工

す風を隊まりす旧あ第た災
。化伸もせ、と・るに。か早
をば道んと、復よ報年らい
防し内。て奥興う道月四も
ごては奥も尻のでかの年の
う活じ尻人の進すら経がで
と動めのご姿展。遠過経、
しし本震とと状被ざと過東
て、州災でも況災かとし日
い記ま語は重を地りもま大
ま憶でりあな見のつにし
の足部りま復つ次震

大震災4年目を迎える



確認された斑点ぬれ雪

う見にくく日が態雪よ雪い白朝
で工見一見光つ一面うのまい、三
す大らくえがたが(と中し斑ア月
。でれ二る当状ほ溶しのた点ス十
研るcmもた況んけて空。模フ一
究稀ほのつでのた、気こ様ア日
さなどでて、少水被がれのルと
れ現積す反こしでさ大は雪ト二
て象も。射の盛飽つ気、が道十
いでつ雪し気り和中降残路四
、たが、泡上状いにつつ上日
よ北時薄白にる出たてにの

「斑点ぬれ雪」発見!

れら動とらう年の属らうワ
はす鍛、こで職ののでソ年
こ高るえ新と人員よすもワ度
と卒こら卒でれはう。し末
とな新とた三社わ場立は事お
り人な瀬年会り内場言異り
ま君り戸間教まのでわ動まし
しが、主み育す異すばがす
た。配四事つ係。動が教あ
置月がちかとで、委ると
さか異りい数他専かいソ

新卒之記録(編集後記)

と校には異に習コな輝ンゲナ
交のなハ色数方り選ナスーと
流小つ一の多法チま手ートのう
が学てフラクををしがのと発とう
あ校いコンの採付た招異し表とう
つがまーナ大りけ!待名てが大
た奥す。をにしい内れ持のりゲ
か。の以走す参!独選るつ公ま
小前る。加ズ手この川務しトラ
学、予今すんのはと内員た。ラ
生母定回る中練に優ラ。ン

マラソンカウントダウン3



奥尻限定発売 奥尻島の切手セット